

プレーパーク レポート

11/09
(日)

寒い雨の日でしたが、59名の方にお越しいただきました。雨は時折本降りになりましたが、最初のうちに張っておいたタープや東屋の下で雨宿りをしつつ遊ぶことができました。風の心配をすることなく焼き芋を焼くことができ、ご来場の皆さんのお腹を満たすことができました。立教大のボランティアの皆さんには「ゆず」イベントを告知いただきました。



始まりと同時にタープをはりました。前回同様、焚火の上に屋根を作り、焚火を囲うようにベンチを置きました。赤ちゃん連れが一番乗りだったので、すぐにベビーゾーンを作りましたが、雨足が強くなったため東屋の下に移動しました。そのため東屋の下がアットホームな憩いの場所になりました。トヨちゃんが東屋の中に長いブランコを作ってくれたので子どもたちが大喜びでした。はじめ高学年の子たちに占拠されていたブランコは、飽きてくると低学年の子たちが占拠。常に子どもたちが揺らして楽しんでいました。クラフトは巨大まつぼっくりのツリーと毛糸のゴッドアイを作りました。大学生のお姉さん達と一緒に作ってもらったことも、こども達には嬉しいポイントのようでした。ツリーにはボンドでビーズをつけて、ゴッドアイは毛糸でカラフルなお守りができました。また、カップの代わりとしてゴミ袋に3つ穴をあけて（首、両腕）チョッキにしました。カラーガムテープをちぎってあげると子どもたちが喜んでゴミ袋にはりつけ、まるで歩くクリスマスツリーにのようなカップが完成しました。隙間なく張り終えて満足したのか、いつもは昼過ぎには眠くて泣いてしまう2歳児の子も、スキップで帰っていきました。焼き芋はホイップクリームとチョコスプレーをデコレーションしたお皿でいただきました。中には焼きすぎのものもありましたが、ほくほくの甘いお芋が焼きあがりました。



ボランティアには新社会人2名、大学生8名、一般3名、推進委員7名にご参加いただきました。スタッフミーティングでは前回出た「手をかけすぎずに自然体で臨もう」という意見について、「感じていたプレッシャーから解かれた」「でも段取りも必要」という両極端の意見のフィードバックが交わされました。このスローガンのもと、「こどもの積極性を大切に接するには…？」と考え各自行動した前回と、持ち帰って2週間悩んできた結果を求めようとする今回。今回の参加者は常連の子ばかりだったので、最後の振り返りでは「こどもの個々の成長と、グループとしての成長、大人の成長」について大いに話し合われました。1年間みてきたそらじいからは「高学年の子たちは常連の塊になってしまうんだなあ」という発見、トヨちゃんからは「見本をまねするこども達の習性」一般ボランティアからは「大人でも思いがけないことをする」という点が挙げられました。子どもたちの個性や兄弟関係に翻ってほめてあげられるポイントの洗い出し。マネは年の近い子をきちんとマネているこどもたちの様子共有。大人の行動で気になる点があった場合は連携プレーで乗り切ろう、といった前向きな意見が交わされました。小鹿野のプレーパークはこうして、広い視野を持って話せるコミュニティが育っています。



こどもにマネされる大人でありたい、というスタッフもいます。ボランティア参加のお兄さんお姉さんの後をついて歩く子たちがいます。2学年ほど先輩の小学生をマネする低学年がいます。

みんなの「いいところ」が響きあって今日のプレーパークがあります。

ご協力いただいた店舗様/企業様

両神道の駅、両神温泉薬師の湯、ローソン 小鹿野飯田、綿半、ラコマート、ウエルシア、ファミリーマート下小鹿野、セブン小鹿野バイパス、セブン下小鹿野、(株)イチワタ、亀吉パン、コメリ、一二三屋、加藤屋洋品店、近藤金物店、八宮松雪堂、村上商店、(株)菊屋、肉の丸清、中野酒店、おもちゃのツカモト、村上文具、トミモ化粧品店、アライパン屋、ウニクス秩父、(株)源作ワイン、ふるさと両神蒟蒻専門店、小鹿野図書館、エネオス 小鹿野バイパスSS、太田甘池堂、須崎旅館、カインズ秩父店、(株)大野毛糸店、ヤマサ花店、トキワスーパー、パナピット・エルフ、マスダプロパン、越後屋旅館、巨香の郷、秩父富士、オンライン情報発信

ボランティア協力依頼
マスダプロパン
パナピットエルフ

【その他企業様】

お名前は記載できませんが、材料などをご提供いただきました皆様。

地域の遊び場作りにご協力いただきまして誠にありがとうございました♡